

まえだ やま えい ご ろ う
前田山 英五郎(1914~1971)



力士。大相撲第39代横綱。西宇和郡喜須来村(現、八幡浜市)出身。本名は萩森金松。八幡浜へ一門を連れて巡業に来ていた3代目高砂親方(2代目朝潮太郎)に見込まれて高砂部屋入門、翌年に喜木山の四股名などで初土俵を踏み、闘志あふれる取り口と強烈な張り手で人気となり順調に出世した。新十両の場所前に再起不能といわれた骨髓炎に罹ったが、慶応病院の前田和三郎博士の献身的な治療で奇跡的に復帰し、これ以降、前田博士への感謝の意を込め四股名を「前田山」と改めた。大関を9年18場所務めた後、戦後初の横綱となる。

引退後は、第4代高砂浦五郎を襲名し、高砂一門を率いる。大相撲の海外巡業を実現し、外国人力士第1号の高見山を育てるなど、大相撲の国際化に貢献する。幕内成績は、206勝104敗39休、勝率6割6分5厘、優勝1回。

略歴

大正3(1914)年5月4日	西宇和郡喜須来村喜木に生まれる。
昭和3(1928)年秋	高砂部屋に入門
昭和4(1929)年	春場所初土俵を踏む。四股名「喜木山」。翌年、「佐田岬」に改名
昭和8(1933)年冬	右腕に骨髓炎を病み、前田和三郎博士の1年にも及ぶ治療が開始
昭和10(1935)年	春場所「前田山英五郎」を名乗り、再起
昭和12(1937)年	春場所入幕。翌年の夏場所には、関脇を飛び越え大関に昇進
昭和17(1942)年1月1日	第4代高砂浦五郎を襲名し、大関との二枚鑑札
昭和19(1944)年	秋場所初優勝
昭和22(1947)年6月	第39代横綱となる(戦後初の横綱)。
昭和24(1949)年10月23日	引退
昭和26(1951)年6月30日	相撲紹介のために渡米し、海外巡業を実施(12月7日まで)
昭和37(1962)年6月	1回目のハワイ巡業
昭和39(1964)年2月	ハワイ巡業で後の高見山をスカウト
昭和46(1971)年8月17日	療養中の静岡県畑毛温泉において肝臓がんのため57歳で永眠 (写真提供：八幡浜市教育委員会)

〈関連図書〉

- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・高永武敏・原田宏『激動の相撲昭和史』ベースボール・マガジン社 1990年
- ・窪寺紘一『日本相撲大鑑』新人物往来社 1992年
- ・景山忠弘『昭和・平成 大相撲グラフィティ』カタログハウス 1993年
- ・今田柔全『どかんかい - 張り手一代前田山英五郎 -』BABジャパン出版局 1995年
- ・『県民メモリアルホール 人物探訪第2集』愛媛県生涯学習センター 1998年
- ・愛媛新聞社『発掘えひめ人 - 近代を拓いた101人 -』愛媛新聞社 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P236, 186~187)

〈ゆかりのある場所〉…(P320, 227)

〈関連施設〉…相撲博物館

〒130-0015 東京都墨田区横綱1-3-28(国技館1階) TEL: 03-3622-0366